

兵庫県 明石市

精神保健上の支援が必要な方が安心して
いきいきと暮らせ、互いに支えあえる
明石市を実現するために。

明石市は平成30年度に中核市に移行し、新たに保健所を設置しました。以降、精神疾患患者や家族、関係者が、それぞれの立場や知見から心の不調で苦しむ市民に寄り添う包括的な支援について協議を行う中でネットワークを構築し、市民が安心して地域で暮らせる相談支援体制の充実・強化を図っています。

1 県、指定都市、中核市、特別区の基礎情報

◆ 5地域の位置



兵庫県明石市

取組内容

- ①平成30年度に中核市に移行し「こころのケアねっと」を開催。令和4年度からは精神保健（地域移行等）を中心としたテーマのもと、医療、福祉、行政（保健、障害福祉）関係者による協議の場を開催
- ②地域啓発事業（令和5年度～）
心のサポーター養成事業、図書館での掲示
- ③精神科病院連絡会、継続支援
- ④あかし精神障がい者アウトリーチ事業
- ⑤精神保健研修会

基本情報（都道府県等情報）

障害保健福祉圏域数（R6年4月時点）	1	か所	
市町村数（R6年4月時点）	1	市町村	
人口（R6年4月時点）	306,091	人	
精神科病院の数（R6年4月時点）	2	病院	
精神科病床数（R5年6月時点）	631	床	
入院精神障害者数 （R5年6月時点）	合計	551	人
	3か月未満（%：構成割合）	286	人
		51.9	%
	3か月以上1年未満 （%：構成割合）	70	人
		12.7	%
	1年以上（%：構成割合）	195	人
	35.4	%	
	うち65歳未満	69	人
	うち65歳以上	53	人
退院率（R5年6月時点）	入院後3か月時点	67.0	%
	入院後6か月時点	93.0	%
	入院後1年時点	96.0	%
相談支援事業所数 （R6年4月時点）	基幹相談支援センター数	1	か所
	一般相談支援事業所数	15	か所
	特定相談支援事業所数	27	か所
保健所数（R6年4月時点）	1	か所	
（自立支援）協議会の開催頻度（R5年度）	（自立支援）協議会の開催頻度	3	回/年
	精神領域に関する議論を行う部会の有無	有（無）	部会内のワーキングで実施あり。
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置状況（R6年4月時点）	都道府県	有・無	か所
	障害保健福祉圏域	有・無	か所/障害圏域数
	市町村	有（無）	1 / 1 か所/市町村数

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

あかし保健所

1. こころのケアねっと(保健・医療・福祉関係者による協議の場)
2. 精神科病院連絡会(市内近隣市、計10か所訪問)→長期入院者への訪問、継続支援
各病院の取り組み、入院者の現状や課題、地域課題、行政との連携について共有・検討
3. あかし精神障がい者アウトリーチ事業

治療中断者等により日常生活上の支障が生じている精神障害者(疑いを含)に対する、精神科医を含めた訪問相談(アウトリーチ)。受療の必要性の判断、必要に応じた受診の促し、本人・家族へ心理社会的サポート、医療福祉サービスの利用支援等を行い、精神科医療の開始及び地域生活の安定化を目指す。

4. 精神保健研修会:3回/年
精神科病院、クリニックの臨床心理士、当事者等に講師依頼。対象は行政、地域包括、ケアマネ、教育機関等の職員
5. 啓発事業(メンタルヘルス、精神疾患の知識習得、普及啓発)
 - ①心のサポーター養成事業
 - ②図書館における精神保健に関する図書掲示
6. その他:_あかし精神障がい者サポートチーム(継続支援)

障害福祉課:
「自立支援協議会」、「ピアサポーター」、「地域移行・地域定着」

基幹相談支援センター:
自立支援協議会(くらし部会、こども部会、しごと部会)、各精神科病院や相談支援事業所等と連携

相談支援事業所:兵庫県から「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」を受託(市内1か所※R5)

3 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の経緯

年度	内容
H30年	中核市へ移行し、新たに保健所を設置。近隣市で、長期間に及ぶ精神疾患者の自宅監禁事件があったことを受け、同様の事案の発生予防と早期発見につなげるための「こころのケアプロジェクト」の一環として「こころのケアねっと」を開催。【課題】精神科医療への未受診への対応のあり方、精神障害者に対する正しい理解の促進、地域の気づきと見守り、相談支援機関の質の向上
R1年	こころのケアねっと・自殺対策推進会議との合同開催：心の不調で苦しむ市民に寄り添う包括的な支援について協議及び課題の抽出を行うことに加え「明石市自殺対策計画」の推進及び評価を行い自殺対策における課題、対策の検討と、関係者相互のネットワークづくりの充実・強化を図った。
R2年	こころのケアねっと・自殺対策推進会議との合同開催：希死念慮のある方への支援体制及び支援方法を見直し「自殺のない社会」の実現を目指すことを目的として開催。事例検討を通じ、自殺対策における課題、対策の検討を行った。
R3年	こころのケアねっと・自殺対策推進会議との合同開催：こころの不調で苦しむ市民に寄り添う包括的な支援について協議及び課題の抽出を行うことにより、市民が安心して地域で暮らせる相談支援体制の充実・強化を図った。
R4年 R5年	こころのケアねっと開催：長期入院への取り組みをテーマとし開催。R4.R5年度については顔の見える関係づくりの構築、市民の精神科病院への長期入院の現状及び課題の共有を行った。

4 精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に資する取組の成果・効果

<昨年度までの成果・効果>

課題解決の達成度を測る指標	目標値 (昨年度当初)	実績値 (昨年度末)	具体的な成果・効果
<p>①精神科病院連絡会の開催 リムラッドを元にした各病院での長期入院者の状況や課題の把握。精神科病院との関係構築</p>	10回	10回	<p>リムラッドの数値だけでは見えてこない長期入院者の現状、各精神科病院の特徴、取り組み、課題などが把握できた。R5年度には、2病院から長期入院者の退院支援について相談があり、継続訪問中。R6年度は、障害福祉課と合同で院内研修を行うことを検討中。</p>
<p>②こころのケアねっとの開催 医療、保健、福祉、行政の顔の見える関係の構築。長期入院に関する課題共有</p>	1回	1回	<p>中核市として保健所を設置して以降は自殺対策について取り上げていたが、R4年度からは精神科病院における長期入院者の状況や地域課題を議題として取り上げ、顔の見える関係づくりの構築、市民の精神科病院への長期入院の現状及び課題共有を図ることができた。R5年度の会議ではグループワークを行い、意見交換の場を作ることができた。</p>
<p>③普及啓発事業の実施</p>	2回	2回	<p>心のサポーター養成研修(厚労省の試行事業)を実施。また市内図書館で精神疾患に関する図書やパンフレットなどを掲示。市民への普及啓発を行う機会となった。</p>

5 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた現時点における強みと課題

【特徴(強み)】

- ・地域の精神科病院、各関係機関と顔の見える関係が構築されている。
- ・自立支援協議会(くらし部会)には、精神科病院、行政、基幹相談支援センターが参加。意見交換できる場がある。

課題	課題解決に向けた取組方針	課題・方針に対する役割(取組)	
長期入院者の約70%が他市(うち近隣市54%)に入院。地域移行・定着及ピアサポに係る事業は他課のため連携が必要。	①退院可能な長期入院者の抽出→他機関連携 ②保健所と障害福祉課との連携:精神科病院連絡会には、保健所・障害福祉課が共に参加。課題共有を行い、連携できる事例、課題があれば役割分担し支援を行っていく。	行政	課題共有・解決に向けた連携を図る
		医療	課題抽出、対象者の選定、行政との連携、ピアサポ等の利用
		福祉	地域移行・定着の推進
		その他関係機関・住民等	
支援者、地域住民の精神疾患に対する正しい理解	・精神保健研修会:地域の精神科病院等の医師、臨床心理士、当事者から話をすることで、疾患理解や当事者会等の情報提供の場とする。 ・啓発事業:身近な図書館で精神疾患に関する図書を掲示し、疾患理解・予防に努める。	行政	研修会、啓発事業の実施
		医療	研修会の講師として参加、啓発の一助。
		福祉	研修会への参加、障害理解と支援
		その他関係機関・住民等	研修への参加、障害理解の促進、啓発、

課題解決の達成度を測る指標	現状値 (今年度当初)	目標値 (今年度末)	見込んでいる成果・効果
①病院連絡会に保健所・障害福祉課が連携して参加	10回	10回	地域移行可能な事例提供、退院支援に関する意欲喚起(院内の啓発・研修などへのピア利用、関係機関の参加)
②地域の支援者に向けた研修会の実施	3回	3回	疾患理解、支援の質向上、他機関連携の場作り
③地域住民向けの講習会の実施	1回	2回	精神疾患に関する正しい理解、予防

※指標設定が困難な場合は、代替指標や定性的な文言でも構いません。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための連携状況

【にも包括構築の体制】

保健所が中心となり、協議の場を開催(精神科病院、基幹センター、障害福祉課が参加)。その他、普及啓発、地域生活支援に係る事業(アウトリーチ)、研修等を行っている。自立支援協議会(障害福祉課担当)にも参加。

所管部署名	所管部署における主な業務
あかし保健所相談支援課	相談指導、入院等関係事務、普及啓発、研修(人材育成)、企画調整等

連携部署名	連携部署における主な業務
障害福祉課	地域移行・地域定着事業、ピアサポ、福祉サービスの支給決定、虐待対応、市町村同意の決定等

各部門の連携状況		強み・課題等
保健	中核市であり、保健所を設置。精神科病院とはケースを通じ連携ができている。こころのケアねっとや病院連絡会の実施により、課題も共有できている。	【強み】保健師、看護師、福祉職が地区担当制で精神保健に関する相談指導、各事業を行っており、抽出した地域課題を元に予防活動に応じた展開ができている。【課題】母子、健康推進は他課のため事業としての連携はできていない。
医療	市内及び近隣市にある精神科病院と連絡会及び協議の場を開催している。	【強み】個々の精神科病院等とは顔の見える関係構築はできている。【課題】長期入院者の退院支援等に取り組むもなかなか進みにくい。クリニックは参加を呼び掛けておらず、今後要検討。
福祉	障害福祉課、基幹相談支援センターと連携。保健所は自立支援協議会(くらし部会)にも参加している。	【強み】基幹とはケースを通じ連携できている。【課題】障害福祉課管轄である域移行・定着はR5年度は実施なし。ピアサポの養成もできていない。
その他関係機関・住民等	庁内関係機関、県(精神保健福祉センター、障害福祉課)、地域包括支援センター等とは必要に応じ連携。	【強み】庁内間の異動があり連携しやすい場合もある。【課題】他部署職員への精神疾患、支援についての理解や啓発が必要。民児協や居住関係団体との連携はない。

※各部門の状況はできるだけ詳しく記載ください

7 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築のための協議の場の実施状況

名称	協議の場の構成員	開催頻度	実施内容	特記事項等(課題・強み等)
こころのケアねっと	精神科病院(明石市内、近隣市)基幹相談支援センター、保健所、障害福祉課	1回	各精神科病院における取組、長期入院者等への支援について、その他課題共有。	日頃から保健所⇔各精神科病院とはケースを通じて連携が取れている。年1回の開催であり、今後の議題については検討が必要。

【その他事項】 ※協議の場運営における課題や悩んでいる点、アドバイザーに相談したい事項など、自由に記載ください

○顔の見える関係づくり、長期入院に関する課題共有や課題解決について取り組んできたが、病院側としてもこれ以上の取り組みが難しいようであり、この課題の検討を継続することは難しくなっていると感じている。地域課題の抽出としてどのような視点、方法で取り組ぶよいか、ヒントを頂ければありがたい。

8 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（長期）

事業利用予定年数：令和7年度まで

<p>長期目標</p>	<p>地域課題の抽出する視点、方法、評価の視点を学び、当市なりの「にも包括」のグランドデザイン(5年間程度の長期的な目標)を作りたい。またその目標に向かって各事業がより連動していけるよう、評価シートの作成も行いたい。</p>
-------------	--

<p>年度</p>	<p>実施内容</p>	<p>具体的な取組</p>
<p>R6年度</p>	<p>①精神科病院地域連絡会、 こころのケアねっと ②精神保健全体研修 普及啓発事業 (支援者及び市民対象)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・退院可能な長期入院者への働きかけ(定期訪問、院内研修等) ・地域における医療・福祉等関係機関の連携づくり ・普及啓発事業の実施(地域で支える) →こころのケアねっとの参加者の拡大(クリニックなど) →これらの事業実施から見える課題抽出 →にも包括の評価表作成
<p>R7年度</p>	<p>上記に加え ①「こころのケアねっと」 ②精神保健全体研修 普及啓発事業 の更なる充実</p> <p>事業利用終了、自治体で推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神保健全体研修会→関係機関の相互理解できる場づくり ・普及啓発(ここサポ、図書館掲示)→参加者数(市民)の拡大 →評価表に基づく評価 →長期的プランの作成

9 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けたスケジュール（今年度）

<p>短期目標 (今年度)</p>	<p>地域で支える仕組みづくりに向け、各関係団体が抱える課題を把握し、解決に向けた事業の計画的実施。新たな課題把握のための手法も学ぶ。</p>	
<p>スモール ステップ</p>	<p>当事者、家族会へのヒヤリング、課題抽出。(昨年度、病院での課題は抽出・共有してきたため、今年度は当事者・家族会のヒヤリングを行う)</p>	
<p>時期(月)</p>	<p>実施内容</p>	<p>具体的な取組</p>
<p>5月</p>	<p>(家族会、当事者会等の現状、課題把握)</p>	<p>断酒会、GA、ギャマノン、精神家族会への見学・挨拶・ヒヤリング</p>
<p>8月～10月</p>	<p>精神科病院連絡会開催</p>	<p>・明石市内及び近隣市にある精神科病院(10病院)を訪問</p>
<p>9月</p>	<p>心のサポーター養成事業</p>	<p>・市民を対象とした、メンタルヘルス・精神疾患に関する知識や啓発の講習会</p>
<p>11月</p>	<p>図書館における啓発事業</p>	<p>・市内の図書館で依存症に関する図書やパンフ等を掲示</p>
<p>7月～1月</p>	<p>精神保健研修会開催</p>	<p>・行政、地域包括、教育・高齢関係の職員を対象とした研修 精神科医師、心理士からの講義、当事者からの話、当事者会の紹介等①依存症②AL課題のGW③統合失調症</p>
<p>R6.1～2月</p>	<p>こころのケアねっと開催</p>	<p>・保健・医療・福祉関係者の協議の場。議題は「長期入院者への支援について、各病院での課題や取り組みの共有」を予定。</p>